

**迎古夢旅** 4586 : **イベリア半島・山上でのひと時** P125



海もいいが、山上からの眺望も、イベリア半島らしい。  
この辺だったかな〜と、記憶にはあるが、正確な地名は、思い出せない。  
調べればわかると思うが、掲載させていただいた。  
私には、イベリア半島らしい光景。

この一人旅では、大げさだが、行けるところ、国の隅々まで、訪問、冒険してやろう。  
この時点では、治安が極端に悪いとか、戦闘がある状況ではなかった。  
しかし、未知の領域、日常茶飯事の事件があるので、  
何が起こるかかわからない。油断大敵はいつもの通り。常に、緊張感を持って。

それだけに、こうした眼下の眺望に出会うと、緊張と弛緩の繰り返しではないが、  
やすらぎのひと時が持てる。異国の地へのひとり旅。  
なんでもない、普通の光景に感動したり、落ち着いたりするから不思議。  
気を取り直して、次の目標へ。そして、また脱線。

このお城や、街の人々は、どんな生活をしているのか、  
自分の立つ位置や、全体像が、少しわかったので、訪ねたのは、言うまでもない。  
一人旅では性格が変わるのか、笑顔で、人懐っこく、先手で、ジェスチャーを交えて、挨拶。  
日本人の私には、未知との遭遇。油断大敵だが、好奇心が喜ぶ。  
時間が許せば、いや、時間をつくって、いつか、日誌を紐解き、今一度、楽しみたい。

書いているうちに、思い出すかと思っていたが、  
地名が特定できないでいる。今、猛暑やコロナ問題。ストレスが溜まりがちな状況。  
画像記録を楽しんでいただければ、いいのではないかと思った次第。  
イベリア半島の画像には、間違いはない。